

国見町合併 60 周年記念
「復興・絆」くにみの日事業

「第 20 回義経まつり」

開催日決定！ 9月20日(日)

今年の義経まつりは、国見町合併 60 周年と開催 20 回目となる記念のイベントとなります。

今年の 9 月 23 日は、5 連休の最終日となるため、日程を連休の前半となる 9 月 20 日(日)に開催することが、5 月 13 日開催の国見町まちづくり推進協議会で決定されました。

また、5 月 28 日には第 20 回義経まつり実行委員会が結成され、義経まつり開催に向け準備が始まりました。



10月1日は5年に1度の 国勢調査が行われます

町統計調査員協議会総会が 5 月 18 日、観月台文化センターで行われました。

今年度新たに統計調査員となった 34 名を代表して奥山美智子さん(藤田地区)に太田久雄町長より委嘱状が交付されました。

総会では太田町長が「今年度は 10 月に国勢調査が行われます。ご協力をお願いします」とあいさつし、岩城重夫協議会長からもあいさつがありました。

国勢調査の詳細は改めてお知らせします。



福島大学人間発達文化学類と 町教育委員会が連携協定

福島大学人間発達文化学類と町教育委員会との連携協定締結式が 5 月 27 日、国見町役場で行われました。

締結式では岡崎忠昭教育長と千葉養伍学類長からそれぞれあいさつがあり、その後協定書に署名し、今後の活動に期待を寄せました。

今回の協定締結は、町の子どもの健やかな成長を育むこと、教員を目指す大学生が現場で学び実践力を身につけることなどを目的としています。今後は、少年仲間づくり教室への学生ボランティア派遣などを行います。

新緑のふくのしま。 3ツ星のおもてなし くにみしゅらん

5 月 23 日と 24 日、ふくしまデスティネーションキャンペーン、国見町合併 60 周年、歴史まちづくり計画認定の 3 つを併せた記念事業「くにみしゅらん」の 2 回目を行いました。参加者は、ひと、歴史、農業、食べ物、風景…を直接肌で感じて、国見を満喫しました。

1 日目 参加した 10 人の女性を最初に歓迎したのは、内谷太々神楽の舞。江戸時代中期の旧佐藤家住宅で、130 年の歴史の舞を体感しました。その後、太田町長の歓迎と町の復旧・復興の取り組みについて説明を聞き、新庁舎を見学。

そして、奥山邸でのディナー。シェフは農林水産省が認定した「地産地消の日本人」山際博美さん。当主奥山トキ子さんのあいさつの後、バイオリンとギターの演奏を聴きながら、国見産の野菜をふんだんに使ったフランス料理を堪能しました。



国見町を応援します

たくさんの方たちの歓迎をいただきました。そして、太田町長が「私たちには、心があります」とおっしゃったとおり、本当に「心」をいただきました。ありがとうございました。これを機会に応援したいと思います。

さいたま市 吉田良子



2 日目 2 日目はモモの摘果作業から。初めての作業に興味津々。作業が一段落した後は、畑で農家と懇談。国見の農業について理解を深めました。

農業体験の後は、小坂くらし館で昼食。小坂地区の女性による手工芸品に囲まれながら、婦人会の斎藤洋子さんらの心づくしを味わい、交流の輪を広げました。

最後は、桐目木山散策。共同山組合長鴨田清一さんの説明を聞きながら、山のすばらしさを体感しました。

